



2024年度 市政懇談会 ＜忠生地区町内会・自治会連合会＞

次 第

[日時] 2024年10月28日(月) 18:30 ～ 20:00

[場所] 忠生市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 横山 法子
忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

○ 連合会長の挨拶

忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 小中学校の統廃合計画におけるスクールバスの具体的計画作成
【学校教育部】
- 2 都市計画道路3・4・40号線小山田地区の整備
【道路部】
- 3 都道155号線の整備
【道路部】
- 4 市道441号線(農免道路)全線の歩道整備
【道路部】
- 5 小田急多摩線延伸早期実現
【都市づくり部】
- 6 忠生スポーツ公園池の辺地区に簡易屋外ステージ設置と防犯カメラ増設
【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 忠生地区町内会・自治会連合会 会長代行 川畑 一隆

**２０２４年度 忠生地区町内会・自治会連合会 市政懇談会
議事録(要旨)**

[日 時] ２０２４年１０月２８日（月） １８：３０～２０：００

[場 所] 忠生市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

道路部長 深澤 香織

都市づくり部長 萩野 功一

都市づくり部都市整備担当部長 平本 一徳

学校教育部長 石坂 泰弘

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

忠生地区町内会・自治会連合会長 ほか２４名

事務局 市民部市民協働推進課 ５名

忠生市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

忠生地区町内会・自治会連合会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第１部 地域の議題に関する意見交換

１ 小中学校の統廃合計画におけるスクールバスの具体的計画作成

小中学校の統廃合計画が進められていますが、忠生地区では小山田小、忠生小、山崎小が廃止の計画となっています。

この計画で住民が最も心配しているのは、通学路の安全確保です。

計画では、小学生の場合概ね徒歩３０分以内に通学できること、それ以上は公共交通機関を利用することとなっています。

そもそも小学校低学年が徒歩で３０分の通学は無理なことに加え、さらにこの地区では路線バスの利用が事実上出来ない地区が多いため、早期に通学バスの導入が必要と思われます。

運転手やバスの確保策、料金やルートの考え方など、具体的計画を作成して、住民が将来も安心して住み続けることができるようにしてください。

【回答】

学校教育部長

小中学校の統合計画におけるスクールバスの具体的計画作成についてお答えします。

2021年5月に策定した「新たな学校づくり推進計画」では、学校統合により徒歩での通学距離が2kmを超えて通学することとなる児童・生徒については、おおむね30分程度を目安として通学できるよう、公共交通機関のさらなる活用やスクールバスの導入などを、地域それぞれの実情やニーズを踏まえて検討及び実施するものとしております。

スクールバスの導入につきましては、2024年（令和6年）第1回定例会において決議されました「『町田市新たな学校づくり基本計画』における通学環境改善のためのスクールバス導入を求める決議」の内容を踏まえまして、通学に利用可能な公共交通機関がない場合に、通学手段の確保の観点から、優先的にスクールバスの導入を検討するものとしたします。

これまで、通学時の交通手段については学校教育部が主体となって検討してまいりましたが、今後検討に着手する忠生地区を含む「第2期小山田地区等」に関しては、庁内横断的に検討を行うため、都市づくり部交通事業推進課をプロジェクトリーダーに、子ども生活部児童青少年課、学校教育部新たな学校づくり推進課、学務課によるプロジェクトチームを2024年8月に立ち上げました。

プロジェクトチームでは、路線バスに加え、タクシーやスクールバスなどの活用可能性について、交通事業者へのヒアリングを実施のうえ、安全性、利便性、経済性等の要素を総合的に勘案しながら検討を行っており、2025年度中を目途に結果を取りまとめる予定です。

《質疑》

（司会）地区連合会長

今ご説明いただいたように、学校教育部だけでは、バスの問題はなかなか手が回りかねる部分もあるということで、その点は私もかなり心配しています。ただ、不勉強で、既にプロジェクトチームが横断的にできたということは非常にすばらしいことで、バスを走らせるといっても、いろいろと問題が多い。今ご説明のように、費用の点もそうですし、そもそもバスを定期運行させるというのは、恐らく学校教育部のお仕事ではないということでしょうから、都市づくり部、その他、児童福祉関係の方が参加されてご検討していただけるということで非常に心強く思っております。

特に質問がなければ、その結果を我々は期待しておりますので、また聞かせていただければと思います。よろしくお願いします。ありがとうございました。

2 都市計画道路 3・4・40号線小山田地区の整備

この道路は町田中心部と日野・八王子方面をつなぐ重要な幹線道路で小山田地区の部分が未着工或いは未整備の部分があります。

本年7月東京都の都市整備局長へ、住民代表として次期都道計画に計上して早期整備をはかるようにとの要望書を提出いたしましたが、その後進展はあるのでしょうか？

【回答】 道路部長

議題2の都市計画道路3・4・40号線小山田地区の整備についてお答えします。

2024年7月に提出された都知事及び町田市長宛ての要望書につきましては、東京都とも情報共有しております。

【資料1】町田都市計画道路3・4・40号【本町田小山田線】の進捗状況につきましては、桜台通りの交差点から下小山田苗圃までの延長約700mの①区間は、「図師Ⅲ期その1」と「その2」の2つの区間に分けて、東京都が事業を進めております。

その1区間の用地取得率は63%、その2区間の用地取得率は0%と伺っており、引き続き、東京都に対して早期完了を働きかけてまいります。

下小山田苗圃から多摩市との行政境界までの延長約1,280mの②区間については、未着手となっております。

②区間につきましては、新たな整備方針の検討の際に、東京都に対して、都施行の優先整備路線として位置づけるように働きかけを行ってまいります。

なお、新たな整備方針の策定に向けて、東京都は、この10月から学識経験者による委員会や都と区市町による検討会を設置し、検討を進めております。

《質疑》

（司会）地区連合会長

ちなみに、その検討会は、いつ頃までに結論を出す予定で現在進められているのでしょうか。

道路部長

現在の第4次事業化の計画が25年度末までになっていますので、来年には終わると思っております。ただ、計画の策定の進め方、どういう形でアウトプットしていくかも含めて、委員会で学識経験者の方々とも協議していると聞いて

ています。

（司会）地区連合会長

地元としてもこれは何遍か、私も今年度に都にお伺いしてお願いはしているところですので、何とか機会を捉えて次期計画に盛り込んでもらえるように、ひとつ要請をお願いしたいと思います。

小山田桜台自治会

この道路の八王子側の出口は、東急の自動車学校の辺りになるのでしょうか。

道路部長

この図面だと見にくいのですが、ちょうど多摩市との市境から尾根幹沿いの東急の自動車学校に抜けるようになります。

（司会）地区連合会長

この道路は東京都の事業となりますので、町田市 of 財政的な負担はないと思います。あとは、町田市としても実現していけるような方向で盛り込んでもらえるように、ひとつよろしくお願いしたいと思います。

3 都道 155 号線の整備

小山田小学校前～山の端の区間は道幅が狭く路線バスとのすれ違いにも危険で、大型車両同士のすれ違いが出来ない等交通に支障がでています。

町田市が主導して整備を推進し、同時に都に改善をせまるように強く働きかけをお願いします。

【回答】

道路部長

議題 3 の都道 155 号線の整備についてお答えします。

【資料 1】 都道 155 号線につきましては、東京都が道路管理者です。

そのため、2021 年度に上小山田・下小山田町内会と一緒に東京都に働きかけを実施し、東京都において、安全対策として小山田小学校前の一部区間の道路改良を実施しました。

現道の安全対策については、今後も引き続き、地元の意見を都に申し伝えながら、実現可能な安全対策について協議してまいります。

《質疑》

下小山田町内会

今、そこに線が引いてありますけれども、現実的にはオオタニテントから延長した形になります。一部その中には通学路もありまして、非常に危険な状態です。都道ですから町田市中心ではできないのでしょうけれども、ぜひとも早くその辺の道路拡張をしていただきたいと。これは、3・4・40も小田急多摩延伸で新駅ができますけれども、そこにつながる元になりますので、ぜひとも早急をお願いしたいと思います。

道路部長

町内会からも直接ご意見をいただいているところですので、引き続き都と調整していきたいと思います。

上小山田町内会

小山田小学校の通学路の防犯パトロールをやっているのですが、その際に、この区間の道路幅員が実際にどのくらいなのかを測ってみました。車が通るので危ないので正確には測れませんが、両側がガードレールに挟まれた車道の部分なのですが、大体、5.8から5.9mぐらいしかないのです。6mもないのかなと思いました。外側に片側のみの歩道が約1.5mという状況でした。この部分につきましては、その図でも分かるのですが、緩やかにカーブをしているということもありまして、車を運転していて、神奈中の路線バスが入ってきても、途中まで入っていかないと分からないのです。

ということで、路線バスは大体2.5mぐらいの幅があると思うのですが、運転に自信のないドライバーの方がそこをすれ違うときには、バスとガードレールの間に挟まれて非常に怖い思いをしています。こういったことがありまして、実際にガードレールに接触というののもかなり起きております。見ていただければ分かるかと思いますが、神奈中の路線バス同士は当然すれ違いができないということで、この区間については時間調整をしているという現状があります。

この問題につきましては何年も前から行政にお願いしているのですが、町田市からは、やはり小田急多摩線の新駅の関係とか、あと上小山田の資源化施設の関係で、それに併せて整備をしていくという回答をいただいているのですが、現実には、市政懇談会の時期になると、町内会の要望の中でこれが本当に多く上がってきてしまうのです。とにかく現状困っているのが現実でして、上小山田、下小山田もそうなのですが、ここを通る方がバスとすれ違うと本当に困ってしまうのではないかと考えています。こういった状況が続いておりますので、町田市が主導して何とか拡幅といいますか、少なくとも大型バスがすれ違える程度には拡幅できないのかと考えております。本格的な拡幅ではなくて暫定的な対応でもいいので、速やかに何らかの動きをしていただけないかなということを要望させていただきます。

道路部長

ありがとうございます。確かに何度もお話を伺っており、579号線の二期を前倒せないかというご相談もいただいているところですが、安全対策については引き続き東京都と可能な範囲で調整していくということでお答えさせていただきます。

小山田中部街づくり協議会

今日は聞くだけで、黙って帰ろうと誓ってきたのですが、今のを聞いていて、全くとんでもない問答なので、今日、ここに環境資源部の部長さんもないのだよね。そこに今いる道路部長さんは、環境資源部の中で一生懸命この仕事を、リサイクルの資源化施設をつくる、または、バイオエネルギーセンターをつくる時に大活躍されて、そのときに立派な回答をいただいているのです。市長も決裁をした書類で、2015年度に上小山田町内会に宛てて、何年にはどうつくと、もうここで完成しているような、ちゃんとした回答が市から出ているにもかかわらず東京都に話すなんてとんでもないのです。155号線の道路のバイパスが3・4・40号線なのです。東京都は3・4・40号線しかやりません。ですから、今の道路を管理するのもやっとで、そこに市が東京都の道路敷が余っていた、または、もう既に使ってもいい土地があったところを整備しただけです。一切、1平方メートルだって買って整備するということはありません。退避場をつくるのも、みんなURから引き受けた土地が155号線の沿道にあったので広げたということで、一切どんなことがあっても拡幅についてはやらないというのが都の姿勢です。

それよりも、市長は2015年に小山田のリサイクルの施設をつくる時に、あの道路をつくと。資源化施設をつくっても、あれをつくってからでなければ車は通させないというふうに。579号線全線です。ということは、そこを開業できないのです。まずつくってからでなければ開業しないと約束されているわけです。そのことを全く、とんでもないということで、道路部長、悪いけれども、あんな答えでは駄目です。環境資源部のときにいられたのだから、続いているのだから、そこにいる部長さんだって環境資源部にずっといて、そのことをやっておられたのだから、それからすれば、今の質問に対してのめっちゃくちゃな答えです。

今の155号線を整備するということは、小田急線の小山田新駅のところにつくるのです。あそこのお客さんが少ない少ないと言っているところで、あの155号線の今のバス停をバスが通るようにすれば、どんどんお客さんが駅に行きますよ。小田急線延伸のお客さんというのは、周りに住宅をつくって、それでお客さんが来るなんて思ったら、何年たってもできませんよ。バスがちゃんとすれ違って行けて本数が多ければ、お客様は幾らでも増えます。

そういうことで、この道については、小山田にとっては一番の念願なのです。念願の道路を、まずこれについては約束してあるわけですから、それを実行してください。よろしくお願いします。

下小山田町内会

質問ではないのですが、私はもう4年ぐらい前からずっと小山田会館の通学路のところを、学校があるときは毎日、2人で交通整理をしています。小山田会館を出て山の端のバス停を出て小山田小に向かうところが一番狭くて、バスが上から来、下から来ると、あそこはすれ違いができなくて、何回か見ているのですが、一緒に重なってしまったらバックもできなくて大変なところなのです。来るバスの後ろにも詰まってしまって。だから2人でやっているのですが、数mくらいは何かならないのかというので、あそこは神奈中の運転手の泣き所ではないかと思って、そのような現状を毎日の朝、見ているので、少しでも広げてもらえればいいのかと思っています。

(司会) 地区連合会長

というふうな切実な形になっていると思いますので、何とか努力していただけるようお願いしたいと思います。今度、朝、一遍見に来てください。そうすると現状が分かって、これは自分の子どもだったら通わせられないという現状をご覧になっていただければ、もう少し何とかしなくてはならないという気持ちになっていただけるとと思います。地元の切実な声ですので、何とか早急によりしくお願いします。

町田市長

本ルートについては、先ほどから説明しておりますように東京都のため、前向きな回答はなかなかできないのですが、東京都には一生懸命お願いしております。何でこのように動かないかというのは、単にニュータウンの開発ができなかったからということだけではなくて、この学校の前の現道拡幅は事業化の優先路線に、なっていないからです。何といたっても一番の問題は、道路事業と都市計画道路事業と2つに分かれているのです。都市計画道路事業のほうが比較的優先して道路事業をやっています。現行の道路事業はなかなか予算がつかないというのが実際なのです。

これは昔で言う建設省であれば、建設省の道路局、今ある道路を広げるとか、改良するというのが道路事業なのです。今そこにはないものをやるのが、建設省で言えば都市計画部門が計画している部門で、そちらは比較的都市計画をした事業という意味で優先的にやると。先ほど来お話が出ております都道155号というのは、もちろん、私も通っている道なのですが、現状の道路をどうするかという事業なので、なかなかお金がつかない。これは東京都の中でもそう

いう順番になってしまっているというところですよ。

そうすると、唯一の解決策は、上小山田まで行っている忠生579号線、それは町田市道です。だから、あまり例はないのですが、町田市道に格下げと言うのかよく分かりませんが、切り替えない限りは市として仕事ができない。東京都に幾ら言っても、そこはなかなかお金がつかないという事情を抱えている、行政としてははざまに落ちているようなところなのだと思います。

そういう意味で、この事業をどうするかというと、都道のままやる事業にはならない。都道のままでは、都が予算をつけるというのはなかなかやらないという意味で難しいということを前から説明しているということです。したがって、今言いましたように、本格的にやるのであれば、もう市が優先して道路の認定を変えてしまうぐらいのことでないと、なかなか事業化はできないということだと思います。

小山田中部街づくり協議会

市長今のは、全くめちやくちな答えですよ。都道155号線というのは誰でも知っているのですよ。それで、今回のリサイクル資源化施設を上小山田の奥につくるときに、そこに入るのに579号線をつくるという約束なのです。579号線をあそこで止めてはいけないから、それは都道の、先ほどの3・4・40号線、小山田会館があるところの前まで、あそこは都道だけれども、町田市がリサイクル資源化施設をつくるのだから市のほうでやりますと。では、どうしてやるのですかと私は聞いたのですよ。重複認定をかけると言ったのです。それで、バスの折り返し所があるから野中谷戸に入って、最後には3・4・40号線の終点のところではほぼ追いつくのですけれども、3・4・40号線というのは、そのバイパスなのです。だから、3・4・40号線は東京都がやるけれども、155号線についての管理はそれまでしているけれども、完成したら町田市道になるのです。

整備については、そのときの奥の道を市は予算を取って、155号線の道路をどうつくるかということで地元に投げかけたのです。残念ながら、そのときに地元から、いや、こんな山の中にそんな道路は要らないよということで断ってしまったのでできなかったのですが、それをやるというふうになったのは、今は都道155号線だけれども、違う市道何号線というふうに認定をかけますと。それから、今回の終点から3・4・40号線までのところについては都市計画道路、今は579号線でやっているけれども、将来は3・4・40号までを町田市が施工する都市計画道路をつくって、それで新しい道路としての位置づけで町田市が全体をやりますということで具体的な整備計画を出したのです。今度、市長のところに行ってきましたから見てください。市長が決裁したものも、私は情報公開で持っていますから。本当ですよ。私は真剣なのです。そういうことは言わないでください。ほかの部長だって、何を言っているのだ

よ。真面目にやってくれ。何をやっているのだよ。

（司会）地区連合会長

少しそのような発言は慎んでください。

小山田中部街づくり協議会

すみません。でも、これは我慢ならないから、そうなってしまったのだけでもね。もう前から何回言っているか分からないけれども、答えが戻ってしまっているのです。そんな馬鹿なことはないですよ。今、地区連合会長から言われたように、市長、申し訳ないです。

4 市道441号線(農免道路)全線の歩道整備

市道441号線は小山田小や小山田南小の児童が通学路として利用する道路ですが、多くの区間で安全な歩道が無く、通学する子供達にとって危険な道路です。

将来予定されている資源ごみ処理施設や小田急多摩線の新駅が実現すると交通量が増加し、さらに危険性が増します。

通学児童の安全を守るため、全線に歩道を整備するようお願いします。

【回答】

道路部長

議題4の市道441号線(農免道路)全線の歩道整備についてお答えします。

【資料2】忠生441号線は、町田街道の常盤交差点付近から小山田バス停付近までを結ぶ延長約1600m、幅員7.5mから10.6mの道路です。

安全対策といたしましては、地元町内会からの要望を受け、平と池谷戸の2か所のバス停について、2019年度、2020年度に滞留空間の整備を行いました。また、種入バス停付近の交差点につきましては、2024年度に、安全にバスの乗降ができるよう、歩道のある位置にバス停を移設するとともに、交差点部に歩道を設置し、歩行者の安全性向上を図っていく予定です。

また、尾根緑道完成後には、尾根緑道中央交差点及び種入バス停付近の交差点について、地元の方々と現地で立会いを実施した上で、通学児童の安全対策を検討してまいります。

忠生441号線の全線整備につきましては、尾根緑道や忠生579号線といった周辺道路整備の進捗状況を勘案しながら進めていく予定です。

《質疑》

上小山田町内会

この市道は、見ていただければ分かるのですけれども、現状ではほとんど安

全な歩道がないのです。歩道があっても片側のみしかありません。さらに、車道と歩道の段差とか、あるいは歩道と車道の間にガードレールがない部分がかかなりありまして、歩いて行くと、かなり車が通っていて怖いという状況なのです。そういったことで、とにかく安全確保のためにきちんと歩道を整備してもらいたいというお話なのです。これも以前から町内会としては要望しておりますけれども、先ほどのお話のように、バス停のところについては、若干の空間の確保をしていただいたということは承知しておりますが、やはりそれだけではなくて、当然それを結ぶ歩道の確保がなければあまり意味がないということもありまして、用地買収をしなければ歩道が確保できませんので、できるところから用地確保していただいて歩道を整備していただきたいということでお願いしたいと思います。

できれば、これは市の準幹線道路の規格で車道 7 m、歩道を両側 2.5 m ずつぐらいにさせていただくのが本当は理想だと思っているのですが、とにかく時間がかかることは承知しております。今のところ、全く歩道ができたところが見当たりませんので、少しずつでもいいですから、歩道をできるところから整備をしていって、我々の目から見て見える結果が出るようお願いしたいと要望させていただきます。

道路部長

ありがとうございます。何度か上小山田町内会の皆様から直接ご要望いただいて、検討しているルートになります。現在、具体的にどういう線形にしていくなかというところはまだ検討前の段階です。引き続き、周辺道路の整備検討と合わせて、安全対策についての検討を進めていきたいと思います。

(司会) 地区連合会長

実際に事故が起こってからでは遅いので、少しずつでもいいですから何とか進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

5 小田急多摩線延伸早期実現

小田急多摩線延伸の早期実現については、今年 5 月に小倉衆議院議員と共に、国土交通省尾崎政務官と村田鉄道局長に地元としてお願いしてまいりました。

町田市や相模原市は 2026 年度までに収支採算性向上にむけてとりまとめを行う子定で検討を行っているとのことですが、相模原市を含めどのような構想を描いているのか。

またこれからのスケジュールを含め地元のまちづくり団体や町内会自治会とどのように意見交換や調整を行っていくのか、市の考え方を出来るだけ具体的に説明いただきたい。

とくに新駅建設と駅前広場建設はどんな検討をしていくのか、すでに新駅予定地周辺には新築の住宅が数多く建設されつつあり、唐木田駅のように駅前広場が無く、バスやタクシーの待機や折り返しもできないような新駅には絶対にしないよう準備をお願いします。

【回答】

都市づくり部長

小田急多摩線延伸につきましては、2016年の国の交通政策審議会答申で示されました、収支採算性向上の課題解決と関係者の合意形成について、相模原市と共に調査検討を進めております。具体的な調査検討内容としましては、線形、駅舎構造、車庫の設置位置等でございます。あわせて、相模原市においては、補給廠跡地のまちづくりの検討を進め、乗降客の増加にも寄与するよう努めています。

これらの検討によって、2027年度末までに収支採算性の改善策の取りまとめと、関係者の合意形成を図る予定です。

その後、国の次期交通政策審議会に諮り、2030年頃の答申を得た上で、関係者と事業着手時期の判断をしてまいりたいと考えております。

町田市内の新駅周辺まちづくりにつきましては、2016年3月に、新駅を中心とした小山田周辺の目指すべき将来の姿を示した、『小山田周辺まちづくり構想』を策定しております。この構想の中で、まちづくりにつきましては、鉄道延伸の取組と連動して進めていくこととしております。

まちづくりの具体的な計画策定に着手する際には、町内会・自治会や地元まちづくり団体及び地権者の方々と調整させていただき、進めてまいります。

その中で、駅前広場及びバス・タクシー乗降場所につきましても、駅の利用者数に応じた、皆様が使いやすい整備を心がけてまいります。

《質疑》

（司会）地区連合会長

今のお話の中で、経済性について、これは、実は私どもも元の小倉代議士と一緒に鉄道局長の方と政務官の方にお会いしてお願いをしたときも、やはり経済性の確保が大事ですねというお話を聞いていますけれども、経済性の向上のために、今最大のポイントはどのような点でしょうか。

都市づくり部長

経済性の一番の焦点は、需要を生み出すことです。今回の延伸の中で最も需要が見込まれるのは、相模原補給廠跡地になります。あそこがどの様なものになるのかによって、小田急線延伸の需要が大きく左右されると考えております。相模原市の本村市長が来年度中に補給廠跡地の計画を決めると、この間、

小田急多摩線の延伸会議の中で言われていたと思いますが、それが来年決まって、実際に需要がどれくらいあるのか、大きな需要を生み出さないと収支採算性は厳しい状況となりますので、そこが一番鍵を握っていると考えております。

小山田中部街づくり協議会

今日こそ、しゃべらないと思ったのですが、相模原市のそういう事業は一番大事だと思うのですが、町田には駅が小山田1つなのです。そこには155号線をつくって、バスが往復して走れば、駅周辺のまちづくり構想は、読んだらびっくりするほど、もう言いませんけれども、具体的にこのようにやりましようとしてあったのが、構想が終わっても、何も手をつけていないのですよ。構想の字だけ見ると、構想だからやらなくてもいいのではないかというように聞こえてしまうような進め方ですよ。できてから10年たって何をやってたのですか。

155号線を入れれば、町田のお客さんはあそこにいっぱい集まりますよ。何しろ電車に乗ってしまえば新宿に行くまで早いですから。小山田の人は、町田の駅へ行って乗り換えて、乗る頃には新宿に着いてしまうのですから。本当にそのバスの充実のためには155号線の整備なのです。ですから、東京都なんて言ったら、これは100年たってもできませんからね。だって、もう約束してしまったのだから、市長さんは。それを実行していただければ、相模原市ももちろんやっていただいて、町田だってこれだけお客が集まるよということが先ですよ。小田急線の駅の位置、広場の位置が決まってから考えますなんていう答えをして、いつも延ばしてしまっているのです。道路をつくるのが先ですよ。それに合わせた広場と駅をつくれればいいわけですから。道路は曲げられないのですから。もうあそこまでは579号線が決まるわけですからね。延伸すれば、今の都道よりも離れたところをずっと、市長、半分ぐらいは違うところを通らないと駄目なのですよ。今の155号線を延ばす計画ではないのです。新しい道路をつくるのと同じなのです。ですから、それをやるのが小田急線の延伸につながると思いますので、ぜひよろしくお願いいたします。

(司会) 地区連合会長

どちらが先かというような話もありますけれども、両方とも相まって進めていくということが非常に大切ではないかと。

それから、駅の周りが、こういう構想だけで規制ができるのかどうか、私も不勉強なのでよく分かりませんが、やはり唐木田みたいな中途半端な駅になると、今、忠生地区の住人がひしひしと感じているのは、西に向かつての交通が非常に大きな比重をどんどん占めるようになるわけです。小田急線もそうですし、リニアもそうですし、いろいろな経済的な相乗効果が西に向かつて

流れるような形で発展するのではないかと思いますので、そこら辺、市も我々住民のことだけではなくて、町田市のこれからの経済発展の余地が非常に西のほうは大きいのだという視点で努力していただきたいと思います。よろしくお願いします。

都市づくり部長

ありがとうございます。鉄道が、これから都市計画決定がされれば、駅の位置、また、交通広場の位置、道路の取付もしっかり決めていけると思います。それに伴って、都市計画、周りの用途も可能な部分は少し容積を上げるとか、その様なことは考えていけるのですが、大元の鉄道が決まらないと、都市計画的なものを決めるのがなかなか難しい状況です。

もちろん、交通としては、今、バス交通に頼っている状況ではありますが、バスも厳しい状況です。よく皆さん聞いていると思いますが、運転手不足というのが、これはまさに今、神奈中から聞くと逼迫している状態です。そういう意味でも、一日も早い基幹交通である小田急多摩線延伸などを実現させて、そこへバスを集めることで効率よくお客様を運んでいくことを我々も目指して、一緒になって頑張っていきたいと考えております。

(司会) 地区連合会長

ありがとうございます。いずれにしても、地元と、市のほうと情報の共有化を図りながら、今後ともお互いに協力していくという形で早期実現に向かって進めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

6 忠生スポーツ公園池の辺地区に簡易屋外ステージ設置と防犯カメラ増設

忠生スポーツ公園は、自由に利用できる芝生広場として連日多くの市民に利用されています。ジョギング、グランドゴルフ、凧あげ、家族連れでのピクニック等々色々な楽しみ方で利用されています。また星空映画会ができないかとも検討されています。

さらに、今ここで音楽イベントができないかというグループがいます。音楽を伴ったイベントが簡単にできれば、このスポーツ公園の利用がさらに広がります。

つきましては、公園のトイレわきの窪地にコンクリート製の簡易な野外ステージを設置していただきたい。憩い場所としても活用できます。

ただ、最近この公園が少年達の“たまり場”となっていて、火遊びや恐喝などもあったという報告もありますので、防犯カメラ、現状の1台では不足です。さらに増設してください。

【回答】

都市づくり部都市整備担当部長

忠生スポーツ公園（池の辺地区）は、2023年9月の開園以来、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々にご利用いただいております。

屋外ステージの設置につきましては、より魅力的な公園としていくため、地域の皆様の声を聴きながら「ステージの使い方や仕様」などについて、忠生スポーツ公園地域コミュニティ連絡会で地域の皆様と意見交換を重ね、検討してまいります。

また、防犯カメラの設置についてですが、トイレトペーパーが放火される事件などが発生し町田警察署に協力を依頼いたしました。この事件を受け、市では防犯カメラの増設を検討しており、年度内には設置いたします。なお、防犯カメラの設置場所についても野外ステージと同様に、忠生スポーツ公園地域コミュニティ連絡会で、地域の皆様と意見交換を行い決めたいと考えております。

《質疑》

桜美林台自治会

道路のことで人命に関わる話の後で大変能天気な話になりますけれども、よろしく申し上げます。あその窪地のところはとてもよい場所で、さくらまつりで仮設のステージをつくっていたところの近くなのです。さくらまつりをやっているときの仮設のステージの3倍の広さがあります。それで、ここはごみが下に埋まっているわけではないので杭が打てると思います。さくらまつりの3倍のステージが、あそこに打ちっ放しのコンクリートでできれば、吹奏楽のメンバーが乗っても、音は前に出るけれども、桜台の団地のほうまでは、今までここでイベントをやったときには響かないのです。ですから、近所迷惑にもなりません。さくらまつりから、ここをスタートしていただければとても面白いイベントになるかなと考えて、提案をさせていただきました。

ここにこういうステージができると、様々なイベントで来賓が挨拶をされたり、表彰をされたり、いろいろなことができると思うのです。今は平場でやるようになりますので、表彰をやったり、来賓の挨拶をしたりということはできないので、多目的なステージの活用ができると思っております。個人的には音楽ステージで提案をさせていただいていますけれども、ここで今一番必要になってくるのは、ここにステージができるだけで様々なイベントが開催できるという提案になっています。

それで、学校の統廃合が進んできたときに、音楽室の楽器、ピアノから、ドラムから、管楽器から弦楽器、これも多分、行き場を失っていくと思うのです。これをまた活用できないかと思っておりまして、駅ピアノとか、街角ピアノとか、そういうところで使える場所をある程度、SDGsで、ちゃんとしたそういった形の行き場を見つけてあげることも大切なことだと思っています。ここ

にステージができて音楽フェスができたときには、例えば、バイオマスとかプールのところにはピアノを置いておいていただいて、イベントのときにはこちらで利用して使えるのではないかなと。ですから、音楽室にあったもので、マイクから、スピーカーから、様々なものが全部活用できるようになるのではないかと考えております。どうか積極的にお願いできますでしょうか。

都市づくり部都市整備担当部長

ありがとうございます。私どもとしましては、この公園がより有効に活用できるようにしていきたいというのは、同じ思いでいます。先ほど申し上げたような形で、ステージといっても、人それぞれ想像は多少ずれていると思うのです。形であったり、ステージの高さであったり、電源をどうするかは全部人それぞれ違ってくると思いますので、こちらについても連絡会で皆さんの意見を聞きながら、統一したイメージを持って形を決めていきたいと考えています。そのステージが出来上がった後の活用方法については、またその中で考えていきたいと考えていますので、ぜひ今後とも協力してやっていきたいと考えています。よろしくお願いします。

下小山田町内会

防犯カメラの位置の要望なのですが、今、バスケットと壁打ちの裏側が特にたまり場になっています。夜になると照明がありませんから暗いのです。それで、その場所と、子どもたちが遊ぶ広場、それと、この前、トイレトパーが燃えたトイレを全部見られるような位置に、できれば防犯カメラを設置していただきたいと思います。

都市づくり部都市整備担当部長

たまり場となっているのは、この裏ということなのですね。ちょうど壁打ちの壁の裏で暗くなって、若い人たちが好きそうなたまり場になっているのかと思います。トイレも放火騒ぎがありましたし、小さい子たちが集まる場所、遊具の周りもやはり必要かなと思っていますので、カメラの位置につきましては、連絡会の中でどこが一番有効かを一緒に検討させていただきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

(司会) 地区連合会長

近々連絡会を開きますので、ご出席いただいて、実際に土地勘がある人でないといけないと思いますので、ぜひ加わっていただきたいと思います。

確かに防犯カメラから壁打ちテニスのコーナーまで遠いですよね。先ほどの映像を見せてもらっても、これは防犯カメラの位置があまりよくなかったかなという気がしますので、その点も含めてよろしくお願いします。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

10分ぐらい、報告をさせていただきます。すべて話していると、夜の9時ぐらいになりますので、二、三項目だけお話をさせていただきます。

まず初めに、東京都立の児童相談所。今は八王子にあるのですが、八王子の児童相談所が町田市の管轄です。これは来年の6月以降から町田児童相談所に分割で来ます。現在の山崎保育園の隣に来ます。ただし、4年後に、昔の忠生第四小学校、今の教育センターにビルを造る計画になっていますから、そこに入居するという計画で、4か年だけ山崎保育園の隣に来ます。

次に、小学校、中学校の給食費についてです。第2子以降は今年の4月から無償化したのですが、来年の1月から全員、給食費を取らないことになりました。つまりあと11月と12月分だけ払えば、これからずっと無償になるということです。

それから、中学校給食センターについてです。現在七国山小学校に統合された旧忠生第六小学校の跡地に町田忠生小山エリア中学校給食センターを、来年度1学期に給食を開始できるよう建設中です。小山田中学校も町田忠生小山エリアに含まれます。最後に南エリアについてですが、来年度2学期から全員給食開始になります。南エリアが開始すると、市内全部の中学校で全員給食が開始できるということになります。

高齢者の特別養護老人ホームの現在の状況は、申込み後1年以内に入る人が大半という状況になっています。ただし、このように同じ市内で1年以内に入れる市は、青梅とか、あきる野を除けば、三多摩では町田だけです。23区に行きますと、基本的には茨城、栃木、群馬でないと特養には入れません。あまり採算の取れる施設ではないので、1平方メートル何千万円という土地では、とても特別養護老人ホームは立地できない状況ですから、大体北関東がメインになると思います。

忠生630号線の開通については、お話しのとおり、今年の7月に通れるようになりました。1か所ちょっと歩道が欠けているところがあるのですが、それを除けば、車道は完全に通れるようになりました。

次が、忠生スポーツ公園のほかに、金森にスポーツ公園が28年度に開設します。それから、木曽東に広場を計画して、こちらは27年度に完成する予定です。忠生スポーツ公園の第2次は、2032年ということで8年後になります。

それから、先ほど中学校給食センターをつくっているときましたが、同じ場所で、旧忠生第六小学校の残り半分で、木曽山崎パラアリーナの整備に向けて、事業を進めています。これは、障がい者スポーツ優先の体育館です。体

育館は成瀬と旭町にあるので3館目ですが、実は障がい者利用が優先です。障がい者の使っていないこまのところは健常者も申し込めるというもので、こういうスタイルの大きな体育館は、東京都では私が知っている限り2か所目です。1か所目は、船の科学館の隣、笹川さんがやっている日本財団、そこにパラアリーナがあります。私どものものが東京都内では、パラアリーナとしては2番目になります。

次に、国際工芸美術館ですが、来年の年明けには着工できるだろうと思っています。25年1月、あと2か月ちょっとで現場に入れると思っています。

それから、熱回収施設の話です。おかげさまで、この9月でストックヤード棟も含めて300億の事業費をかけたバイオエネルギーセンターの全施設整備が終わりました。本当に地域の皆さんにご理解をいただいて進められました。ありがとうございます。終わりましたが、実は先ほどもちょっとお話がありましたが、資源ごみ、ビン、カン、プラスチック等の整備は今2か所で計画しているのですが、相原地区で用地買収を進めています。相原の大戸という場所です。まだ最終的に用地買収が完了していませんので、用地買収の希望的観測も入っていますが、2028年度に完成をする予定です。上小山田というか、源流の泉のほうですが、こちらは、30年度ぐらいまでには用地買収を完了させたいと考えています。先ほど話題が出ました579号線を通して運ばれますので、上小山田から今の源流の泉に行く道を広げて、その先に資源化施設をつくる計画になっていますが、まだどこという場所は決まっています。

2026年度、あと1年と5か月後に全市域プラスチック分別が始まります。今、南のほうでやっていますピンク色の袋、通常の黄色い袋の2分の1の手数料で販売していますが、これが1年4か月後に全市プラスチック分別、容器リサイクルの法律に従ったものとしてスタートします。先ほど説明したように、相原も間に合わないので市内にないので、全部市外に運んで処理をしてもらいます。したがって、そこができない限り、運搬も含めて、民間委託にかなりお金がかかることになっています。

大体そんなところが時間の中でしゃべれる報告です。終わります。

《質疑》

小山田中部街づくり協議会

最後の上小山田の資源化施設はぜひつくっていただきたいのですが、それをうまく、579号ができたときには、先ほどの155号線ができないと、ごみ収集車は入れませんので、よろしくお願いします。

○閉会の挨拶（忠生地区町内会・自治会連合会会長代行）

東京都
多摩市

議題2 都市計画道路3・4・40号線小山田地区の整備
議題3 都道155号線の整備

投影資料1

東京都
町田市

②区間
(1,280m)

①区間
(700m)

忠生579号線

都道155号

●小山田小学校

山の端

下小山田苗圃

東京都施行
図師Ⅲ期（その2）

東京都施行
図師Ⅲ期（その1）

接合通り

250m

町田3・4・40号

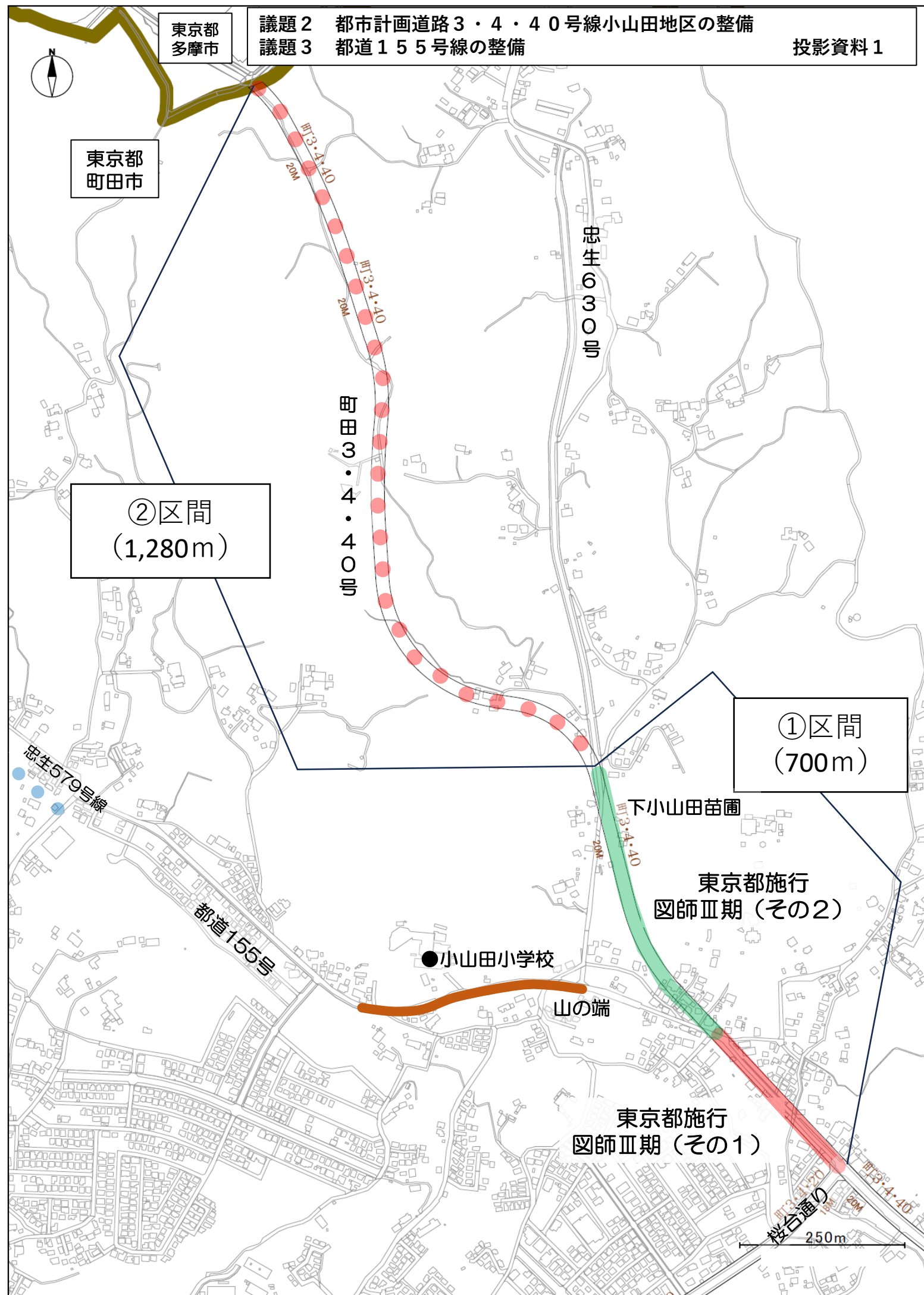
忠生630号

町田3・4・40号
20M

町田3・4・40号
20M

町田3・4・40号
20M

町田3・4・40号
20M







防犯カメラ撮影状況



ステージ設置要望箇所

